

伝統文化と科学・学術の新たな出会い

人文社会科学から自然科学分野まで日本の科学者・研究者 84 万人を代表する組織である日本学術会議は、本年度より各地域で会議を開催することになりました。市民や地域リーダー、さらに次世代を担う若い人々とともに、伝統文化と芸術の町 = 京都で、科学と学術の過去・現在・未来をともに語り合いませんか。

参加費
無料
※交流会を除く

事前WEB
申込制
定員になり次第
締切ります。

平成30年 12月22日(土) 13:00-20:00

会場：京都府立京都学・歴彩館

(第二部・第三部は隣接する京都府立大学で実施いたします)



プログラム概要

※第一部 定員 500 名程度

第一部 シンポジウム @京都府立京都学・歴彩館

13:00~16:00 主催者挨拶

山極 壽一(日本学術会議会長・京都大学総長)

実行委員長挨拶

山田 啓二

(前京都府知事・京都産業大学学長補佐・法学部教授)

「伝統芸術と科学」(対談)

山極 壽一

土佐 尚子(京都大学総合生存学館特定教授)

「アジア化する世界~21世紀の潮流~」(単独講演)

中津 良平

(京都大学大学院横断教育プログラム推進センター
デザイン学リーディング大学院特命教授)

「いけばな~日本の知恵の世界発信~」(対談)

池坊 専好(華道家元池坊 次期家元)

渡辺 美代子(日本学術会議副会長・科学技術振興機構副理事)

司会 小山田 耕二(日本学術会議第三部会員・京都大学学術情報メディアセンター教授)

第二部 分科会 @教養教育共同化施設 稲盛記念会館

16:30~18:00 1. 京都市民にとっての科学・学術

コーディネーター:

坂東 昌子(NPO法人知的人材ネットワーク・

あいんしゅたいん理事長)

2. 伝統文化と科学・技術・リベラルアーツ

コーディネーター:

佐藤 洋一郎(京都府立大学京都和食文化研究センター特任教授)

3. 先端産業と科学・学術

コーディネーター:

西本 清一(公益財団法人京都高度技術研究所理事長・

地方独立行政法人京都市産業技術研究所理事長)

4. 若手研究者は科学・学術について何を考えているのか

コーディネーター:

新福 洋子(日本学術会議特任連携会員・

京都大学大学院医学研究科准教授)

第三部 産学良縁創出企画 @Deli Cafe たまご

~あなたの得意は誰かの不得意。GIVE & TAKEでさくっと協働~

18:30~20:00 進行: 宮野 公樹(京都大学学際融合教育研究推進センター准教授)

有志による交流会 ※第三部同時実施(18:30~20:00)

(参加費 一般3,000円, 学部生・大学院生1,000円)

※プログラム詳細は順次WEBで公表いたします。

- 主催 日本学術会議
- 共催 京都産業大学、京都府立大学、京都大学
- 後援 京都府、京都市、大学コンソーシアム京都、公益財団法人日本学術協力財団
- お問い合わせ先
日本学術会議in京都(京都産業大学内)
TEL 075-705-2953 FAX 075-705-1960
Email: senryaku-kikaku@star.kyoto-su.ac.jp



<アクセス>

●電車でお越しの方

・京都市営地下鉄【烏丸線】北山駅(1番出口)南へ徒歩約4分
※車椅子でお越しの方は、北山駅3番出口のエレベーターをご利用ください。

●バスでお越しの方

・北山駅前(京都市バス4系統・北8系統) 南へ徒歩約4分
・前萩町(京都バス45系統・46系統) 南へ徒歩約4分
・府立大学前 北へ徒歩約6分
(京都市バス1系統・204系統・205系統・206系統・北8系統)
(京都バス32系統・34系統・35系統・45系統・46系統)

WEB申し込み

QRコードまたは京都産業大学HPからお申し込みください。

平成30年 日本学術会議in京都 検索

https://www.kyoto-su.ac.jp/events/20181222_gakujutsu_in_kyoto.html



平成30年度 中国・四国地区会議事業報告

事業名	実施日時	場所	事業内容
<p>・第1回地区会議 運営協議会及び 学術講演会</p>	<p>平成30年 11月</p>	<p>とりぎん文化 会館</p>	<p><u>運営協議会：</u> 1) 平成30年度公開学術講演会 について 2) 2019年度公開学術講演会に ついて 3) 平成30年度地区ニュース (No. 50) について</p> <p><u>学術講演会：</u> テーマ「地域の持続性に貢献す るオンリーワン研究の展開」</p> <p>開会挨拶（以下敬称略）： 1) 渡辺 美代子（日本学術会議 副会長） 2) 神谷 研二（日本学術会議中 国・四国地区会議代表幹事） 3) 豊島 良太（鳥取大学長）</p> <p>基調講演： 1) 「オンリーワンを目指した鳥 取県の取り組み（大学研究の必 要性）」岡村 整諮（鳥取県統轄 監） 2) 「鳥取砂丘から世界の乾燥地 研究へ ～乾燥地における SDGs 達成への挑戦～」山中 典 和（鳥取大学乾燥地研究センタ ー長）</p> <p>シンポジウム： （司会：辻本 壽（鳥取大学乾燥 地研究センター副センター長）</p>

<p>・ 地区会議ニュースの発行 (No. 49)</p> <p>・ 第 2 回地区会議運営協議会</p> <p>・ 「地区会議の動向」(学術の動向)への掲載</p>	<p>平成 31 年 1 月</p> <p>平成 31 年 3 月</p> <p>平成 30 年 11 月</p>	<p>広島大学</p>	<p>1) 「生業・生活多世代共創コミュニティモデルの開発」 家中 茂 (鳥取大学地域学部教授)</p> <p>2) 「鳥取大学医学部附属病院にロボット支援手術がもたらしたものの」 武中 篤 (鳥取大学医学部附属病院 副病院長)</p> <p>3) カニ殻由来の新素材「キチンナノファイバー」を活用した学術研究と地域産業の創出 伊福 伸介 (鳥取大学工学部教授)</p> <p>閉会挨拶 裕見 吉晴 (鳥取大学理事・副学長)</p> <p>中国・四国地区の日本学術会議会員・連携会員及び教育研究機関等へ配布</p> <p><u>運営協議会：</u></p> <p>1) 2019 年度事業計画について 2) 2019 年度公開学術講演会について</p> <p>1) 平成 29 年度公開学術講演会報告 ※平成 30 年 11 月号掲載 2) 平成 30 年度公開学術講演会報告 ※平成 31 年 1 月投稿</p>
---	---	-------------	---

平成30年度 九州・沖縄地区会議事業報告

事業名	時期	場所	事業内容
運営協議会の開催	平成30年 8月	書面回議	議題 (1)平成30年度下半期の科学者懇談会及び学術講演会概要案について審議
	平成31年 3月	書面回議	議題 (1)平成30年度事業報告(案)について (2)平成31年度事業計画(案)について
科学者懇談会の開催	平成30年 9月10日 (月)	鹿児島市	武内副会長、前田鹿児島大学長ほか18名が出席し、意見交換及び懇談会等を行った。
	平成31年 2月27日 (水)	熊本市	武内副会長、原田熊本大学長ほか20名が出席し、意見交換及び懇談会等を行った。
学術講演会等の開催	平成30年 9月10日 (月)	鹿児島市	鹿児島大学との共催にて学術講演会を開催した。 ◇テーマ 南九州におけるウイルス感染症とその制御に向けた挑戦 ◇演題・講演者 ・『南九州におけるウイルス感染症とその制御に向けた挑戦』 石塚 賢治（鹿児島大学難治ウイルス病態制御研究センター教授） ・『HTLV-1で起こる神経難病：HAM』 久保田 龍二（鹿児島大学難治ウイルス病態制御研究センター 教授） ・『鳥インフルエンザの制御を目指して』 小澤 真（鹿児島大学共同獣医学部 准教授） ・『重症熱性血小板減少症候群（SFTS）とその治療薬に関する研究』

			<p>馬場 昌範（鹿児島大学副学長・難治ウイルス病態制御研究センター教授）</p> <p>◇参加者 100名以上</p>
	平成31年 2月27日 (水)	熊本市	<p>熊本大学との共催にて学術講演会を開催した。</p> <p>◇テーマ 熊本地震の復興に貢献する熊本大学の学術研究</p> <p>◇演題・講演者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『永青文庫細川家史料と地域史料—文化財レスキュー事業の経験から—』 稲葉 継陽（熊本大学永青文庫研究センター教授） ・『画像処理を用いた石垣照合システムによる熊本城復興支援』 上瀧 剛（大学院先端科学研究部（工学系）准教授） ・『益城町の復興まちづくりを支援する実践的研究』 円山 琢也（くまもと水循環・減災研究教育センター准教授） <p>◇参加者 100名以上</p>
日本学術会議 九州・沖縄地区ニュースの発行	平成31年 3月		No. 117号を発行